

安井 和則

希望

能代市中心市街地活性化計画

【質】 中心市街地の空洞化が進んでいるが、若者の移住、定住の促進を視野に入れた空き地空き家対策として、移住定住した場合は、固定資産税の減免等、税制の優遇など独自政策を講ずる考えはないか。

【答】 市では現在、空き家情報を提供する「空き家バンク事業」、能代山本圏域外から市内へ移住した方の空き家リフォーム費用を助成する「移住促進空き家改修事業」等を行っている。国の制度等も活用し、引き続き移住定住促進や空き家対策に取り組み、中心市街地の活性化につなげたい。提案の固定資産税の減免についても手法の一つとして参考にしたい。

水素社会に向けた市の取り組み

【質】 電解水素水（還元水）を使った園芸作物の実証栽培など農業への導入を推進しているが、技術開発が進む再生可能エネルギーと水素を組み合わせた次世代エネルギーを活用した今後の取り組みは。

【答】 本市には液体水素の先進的な研究が行われるJAXA能代ロケット実験場が所在し、水素を製造するためのクリーンな電力を得られる風力発電の適地という優位性がある。水素社会の実現に向けて取り組み、将来的には、非常時の電力供給が可能な安心・安全なまちづくりや、電解水素水・熱供給による農業振興、関連企業の誘致につなげたい。

その他の質問事項

- 中心市街地活性化計画の対象区域
- 能代西高等学校用地の活用計画は
- 小規模事業者への補助制度の拡充を

落合 康友

議会改革を推進する諸派の会

地域間格差のない子供の遊び場の充足

【質】 郊外学区には公園施設が少ない。市街地の子供は整備された空間で伸び伸び遊べるのに、郊外の子供はそれができないとすると、子育て環境に地域間格差がある。全地域が平等でしかるべき。

【答】 一学区内に最低一カ所の遊び場とのことだが、現在の小学校12学区における公園等の配置状況を確認したところ、竹生小学校の学区には、市の公園等がなかった。今後の公園整備については、子供の遊び場としての整備も含め、地域の要望があれば、地の協力体制や利用者数、費用対効果等を勘案しながら、市民協働を基本に検討したい。

持続可能な行財政運営実現への考え方

【質】 今後厳しい財政運営が強いられるが、縮小社会に適合した、持続可能な行財政運営の抜本的構築に集中的に取り組むことが喫緊の課題であると私は主張してきた。来年度予算編成の考えは。

【答】 30年度は第2次能代市総合計画の初年度となることから、将来像「わのまち能代」の実現のため、それぞれの施策を推進していく。今後の厳しい財政状況を勘案し、最少の経費で最大の効果を上げるよう全ての事務事業について、その緊急性、必要性、効果等の観点から厳しく洗い直し、統廃合や効率化を図られるような予算編成を行いたい。

その他の質問事項

- 地域おこし協力隊の募集要件
- 市職員過重労働の解消
- イオン出店詳細を早急に明示せよ

安岡 明雄

改革ネットワーク（市民の声、日本共産党、改革のしろ）

制定して5年経つ健康づくり推進条例

【質】 市民のいのちと健康を守るのが条例の目的であり、具体的成果が伴わなければならない。目的達成のため、あらゆる手立てを講ずるべきではないか。現状認識とともに伺う。

【答】 がん検診の受診率、健康に関するイベントや講演会、講座等の参加者は増加傾向にあり、市民の健康への意識の高まりを感じているが、行動へつなげていく工夫も必要であると考えている。市内の各学校では、がん教育を実施しており、子供も言めた、がんに対する正しい知識の普及に、なお一層努めたい。

働き方改革を市役所で実践すること

【質】 時間外勤務月100時間を超える職員が12名と、憂慮すべき状況である。窓口の外部委託、業務改善専門家の雇用等で、業務の質を維持しながら、業務量を減らす抜本改革を推進すべきでは。

【答】 行政二一スの多様化・高度化等により職員の業務量はふえており、職員数とのバランスを図るため、業務委託も含め、業務量の削減について検討したい。

その他の質問事項

- 総合計画実施計画をどう進めるか
- 事業の検証を具体的にあらわすべきだ
- ARR活用による檜山のまちづくり